

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2012年4月9日(月) NO. 245

地域から明るい未来を作ろう

# 国が栄えたら

昨今のマスコミに於いて、シロアリが話題になっていきます。

どうもシロアリは税金を食い物にする一部の特権天下り官僚をいうようです。

いつ頃からでしょうか。

クロアリが突然変異で変わってしまったのでしょうか。

シロアリが異常繁殖すれば

建物は極端に劣化し、最悪の場合倒壊します。そもそもは、シロアリが繁殖出来る土壌があるからだと思います。

本来ドジョウが豊かであれば植物にも豊かな実りをもたらすはずですが、デフレの下り坂。ドジョウは痩せて来ています。さらにドジョウは汚染され、除染も進まず、責任者は正しい情報をも出すことを畏れ、国やぶれ山河は無惨な状態になった。

冷却水の注入と地上の夕



ンク(収支)に整合性があるのででしょうか。すべて回収されているのでしょうか。

母なる地球の大地を半世紀以上、核廃棄物で永久に汚染を続けていくだけではないでしょうか。

平成の今でも大本営を検証はできず、まだまだ「事実」が明らかにされているとは到底思えません。空気も水も見えないのです。残念ですが信用できないのです。

政治も会社も騙したつもりがなければ良しの無責任さ、消えた年金やマニフェストも原発も皆同じみたいです。

透けて見えて来たのは江戸のドジョウとシロアリが栄えたことのようにです。どうも国が栄えて豊かになることは、こういうことだったようです。

貸借対照表は全社員が作るもの、損益計算書は全社員の意志が作るものです。決定は社長、実行は社員、責任は社長です。成果のすべては社員の手柄です。決算書は単なる過去の実績です。社員は社長の未来は社長のビジョンと目標で決す。

## 客の要求を満たす

ことがすべての事業の根底です。当たり前のことが難しい。

客に聞かなければ分からないのは、真摯に對していない現れでしょう。真剣に係わっていけば、自然と要求が見えて来るはず。上手くいかないのは、客に学ぶ姿勢の欠如、信頼関係の不足?でしょうか。

アップルに見るアイホーンの新たな提示。ビジョンを描き追いつけた S・ジョブズの成果です。技術的には既存の集合体ですが、考え続け新たな創造、次元の提示が実に効果的です。

会社の繁栄は、社会がその会社を必要としている証です。会社には社会的な責任がある。存続するため社会に貢献する。社員の生活を守るため社会的な使命がある。

まず社長と役員に優れたビジョンや目標のないところに未来は築けないし、繁栄はない。